

ながやまっ子

校訓 「広げようやさしい心 きたえようじょうぶな体 育てよう学ぶ力」

龍ヶ崎市立長山小学校学校だより

令和7年9月12日 No.11

「いのちを守る」 避難訓練を通して

9月11日（木）に、防災教育の一環として、全校で竜巻対応を想定した避難訓練を実施しました。地震や火災に加え、近年では気候変動の影響により、大雨や竜巻、突風といった突発的な気象災害への備えが重要性を増しています。

今回の訓練は、予告をせずに実施した避難訓練でしたが、子供たちは真剣な表情で訓練に臨んでいました。竜巻発生警報が発令され、落雷や突風等による被害が考えられるため、安全を確保する行動をとるように訓練開始の放送が流れると、一斉に子供たちは「お（おさない）・か（かけない）・し（しゃべらない）・も（もどらない）」を守って行動することができました。

避難訓練の事前学習としては、各学級担任が気象庁等の防災教育資料等を活用しながら、「急な大雨、雷、竜巻から身を守ろう」というテーマで、「どんなときに竜巻が起きるのか」、「どこに避難すればよいのか」、「身を守る方法」等について、学年に応じた指導を行いました。もし校舎内にいるときに、竜巻発生警報等がでたときには、窓やカーテンを閉め、頭部を守る姿勢（ランドセルを背負って、ダンゴムシのようにしゃがみ、頭部を守る）を取りながら、安全を確保するための行動を確認しました。

避難訓練後には教室で振り返りを行い、普段の生活の中で「自分の身の安全を守るために、自分で考えて行動することが大切であること」を伝えました。

これからも学校では、子供たちが自分の命を守る力を身に付けることができるよう、様々な防災教育に取り組んでまいります。ご家庭でもぜひ、天候が急変したときの対応や、避難の際に気を付けることなどについて、お子様と一緒に話し合ってみてください。

また今後、風雨の状況によっては、児童の命の安全を最優先に考え、下校時刻の変更や児童の引き渡しをお願いする場合がございます。その際には、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

